

WEEKLY



ゴードンR.マッキナリー会長

酒井法丈ガバナー

山本雅久会長

RIテーマ

地区方針

クラブ方針

CREATE HOPE in the WORLD
世界に希望を生み出そう

培おうプライド、育もうブランド、
そして未来へ!!

輝こう! 豊橋ゴールデンロータリークラブ
～我がクラブの志と共に～

第39回(通算1653回)例会報告

令和6年5月17日(金)

青少年奉仕担当例会

ゲスト

地区青少年交換委員会 委員長 加藤謙一氏、地区青少年交換委員会 委員 河本圭史氏

出席報告

総会員数57名(計算会員数50名) 欠席10名 出席率80.00% 前々回修正出席率86.27%

歌/会場

国歌・奉仕の理想

会場: ロワジュールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30～

会長の時間

山本雅久会長



世界に著

第39回例会を執り行させていただきます。皆さんこんにちは。先日の土曜日 RFF の催し物に参加させていただき、バスで皆さんと一日ロータリーについていろいろな話をさせて頂きありがとうございました。

本日は、地区出向の鬼頭秀幸、牧 岳大両氏が地区のお手伝いで先に行っておりまして皆様の声掛けによって我がロータリークラブの代表としてのご苦勞に感謝し励ましの言葉をかけてやってください。本日は、地区青少年交換委員長加藤謙一さんと河本圭史さんによる青少年交換委員会の活動報告をしていただき、今後の国際交流について勉強をさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

ロータリーの友読みどころ

高橋哲也雑誌委員



<横組み>

4～5 ページでは、RI 会長のメッセージとして、このロータリーの友で1年間、メンタルヘルスにフォーカスして掲載してきたこと、そして持続可能な変化の兆しが見えてきたことに感謝していることが書かれています。

My ROTARY のラーニングセンターにアクセスし、短い動画を含む「より大きなインパクトをもたらす」を是非チェックして欲しいと言っています。

7 ページからは、青少年奉仕月間の特集として「青少年の育成を支援するという事」というテーマで、今回は2820 地区と 2660 地区の RYLA セミナーの様子が取り上げられていました。それと「青少年との適切な距離を知りましょう」という記事で、容認されあるいは容認されないやり取りや行為の具体例についても記載がありますので是非ご一読ください。

14 ページからは「もっと知りたいパキスタン」記事です。野生型ポリオ根絶まであと2か国となっているなかで、そのうちの1つがこのパキスタン。昨年緒ポリオ症例報告は6件ということでしたが、90年代初頭が2万件だったことを考えると撲滅は目前といったところでしょうか。ワクチン投与などの対策も進んでおり、今年の1月だけで4,300万人へワクチン投与、2月から3月で4,380万人へ行っており、人口が2億4,000万人ということを考えるとかなりの接種率だと思います。ちなみに来月6月号ではもう一つの国、アフガニスタンについて記事掲載があるそうなので楽しみに。

18 ページからは「応援してます! 能登」特集ページです。能登半島地震から4ヵ月が経過しましたが、各地で多くのクラブが行った支援活動の内容が掲載されています。当クラブも支援の募金を集めていましたが、私は先月、同業者を支援するため輪島市へ行ってきました。輪島市内の水道はほぼ復旧していましたが、道路は補修されてはいたましたがまだ通りにくい状態。損壊した建物はそのままの状態、火事があった市場は焼け野原のままです。地元の人からは「能登は復興どころかまだ復旧すらされていない所が多い」「忘れずに支援の輪を広げて欲しい」と言われましたので、皆さんもそれぞれが出来る方法で支援を続けて頂けれ

誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!

山口幹夫会員



入会記念日祝い



伊藤眞芳会員 廣濱成一会員 金子通信会員



今川明彦会員 保永真生会員 飯野益通会員



ば幸いです。

<縦組み>

4~7 ページは「サバ缶宇宙へ行く」という特集です。主人公である福井県立若狭高等学校の小坂先生は 2020 年にサバ缶の貢献から内閣総理大臣や文科省から表彰されましたが、水産高校に着任してから紆余曲折がありながら、延べ 60 人の生徒が研究活動を行い、約 300 人の生徒が缶詰製造に関りながら 10 年以上経て作ったサバ缶が JAXA の定める宇宙食に認定されるまでの経緯が書かれています。ご興味ある方は是非ご一読ください。

創立 20 周年記念事業その後の展開



西郷隆治会員

豊橋ゴールデン RC と三河市民オペラの関係についてお話しします。三河市民オペラは発足して 19 年。5 回のオペラを通じて、数多くの受賞歴を経て現在に至っている。当クラブは当初より三河市民オペラの趣旨に賛同、後援を継続してきた。

三河市民オペラは地元の経済人が中心となって、企画運営から実施まで楽しく、民間で本格的な音楽の提供、オペラの楽しみ方の提案をしてきました。

2009 年には豊橋ゴールデン RC はオペラの後援だけでなく、創立 20 周年の主たる事業としてオペラ「カルメン」を共催し、会員一丸となって企画に取り組んだ。

この共催事業の成功と情熱が三河市民オペラの継続運営の礎となったと確信します。

本年は「カルメン」から 15 年経過し、本事業の経緯を知らない会員もかなりいる。本日はオペラの沿革と受賞歴、そして次なる挑戦について、簡単にご紹介します。時間の関係で資料と動画を簡単にご説明させていただきます。

沿革

- 2005 年 豊橋市民オペラ実行委員会として発足
- 2006 年 モーツァルト オペラ「魔笛」
- 2009 年 ビゼー 「カルメン」豊橋ゴールデン RC 創立 20 周年記念公演
- 2013 年 プッチーニ「トゥーランドット」
- 2017 年 ヴェルディ「イル・トロヴァトーレ」
- 2023 年 ジョルダノ「アンドレア・シェニエ」

受賞歴

- 2010 年 第 8 回佐川吉男賞・奨励賞
- 2010 年 東愛知新聞社 第 26 回「特別社会賞」
- 2011 年 愛知県芸術文化選奨・新人賞
- 2011 年 第 11 回豊橋文化奨励賞特別賞
- 2013 年 豊橋市第 58 回市制功労者
- 2014 年 第 11 回三菱 UFJ 信託音楽奨励賞
- 2018 年 第 26 回三菱 UFJ 信託音楽賞
- 2023 年 第 10 回 JASRAC 音楽文化賞
- 2024 年 愛知県文化芸術選奨

20 周年記念事業のオペラ演奏会以来 3 回のオペラを実現し今に至っている。

今後も三河の音楽文化を全国に発信するため、更なるスケールアップを求めたい。

今後もロータリー会員として I serve を基本理念として、意義ある運動として若い世代に引き継ぎ、地域社会に微力ながら、貢献し継続したい。

青少年奉仕担当例会

伊藤角栄青少年奉仕委員長



- 加藤謙一氏 略歴
- 2017 年名古屋宮の杜 RC 設立入会
- 2019-20 クラブ会長
- 2023-24 クラブ幹事
- 2023-24 地区青少年交換委員長

現在、青少年奉仕活動では、ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)、ロータリー青少年交換の活動を通じて、青少年は社会的な意識を高め、自己成長や地域社会への貢献を促進する活動を続けています。我がクラブでは、まだ活動していない青少年交換について学び、今後の青少年奉仕活動の一助になれば幸いです。

そこで、国際ロータリー第 2760 地区青少年交換委員会委員長の加藤謙一氏を招いて卓話をさせていただきます。異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらすことで、世界平和を少しずつ実現できると信じ、どのような気持ちでこのような重責を引き受け取り組んでおられるかなども交えてお話しさせていただきたいと思います。

加藤氏の卓話を通じて豊橋ゴールデン RC が考えられる青少年奉仕活動のヒントになればと思います。



地区青少年交換委員会委員長 加藤謙一氏

こんにちは青少年交換委員会です。われわれは青少年を通して世界を平和にできると信じてこの事業に取り組んでいます。

まずは、みなさん一人一人の人頭分担金を 2,020 円ずつ事業費として使わせていただいていることにより委員会となりっていることに感謝します。

現在、世界 100 カ国以上で実施されているロータリー青少年交換は、ロータリークラブによる支援の下、16~19 歳の学生が海外に滞在し、各国の親善大使として文化や言語を学びながら、国境を越えた友情と信頼を築き、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。

今この時も日本全国から世界各国へ飛び立った日本の親善大使たちは日々日本の良さを伝えるために生活を送っています。

われわれ日本にいるロータリアンは青少年交換で来たインバウンドはもとより世界中から日本に来ている海外の人たちに日本の良さを伝えているのでしょうか。

日本にいるわれわれも日本の親善大使でありインバウンドに日本の、日本人の良さを伝える役割があると考えられるようになりました。

青少年交換プログラムは 3 年間のプログラムになります。参加資格は出発時 (2025 年 8 月) 16 歳~18 歳 応募は中学 3 年生も可能です。

※2022 年から愛知県内全ての高校、中学校へ派遣募集案内を送付しております。次年度の募集期間は 2024 年 8 月 23 日が締め切りとなっております。

8 月 31 日に選考試験 試験後の選考委員会を経て合格した候補生はいよいよ一年目のスタートです。

派遣候補生は一度でもオリエンテーションを休むと派遣交換は不可能となります。



オリエンテーションは候補生の保護者も毎回出席していただきます。

毎月1度おこなわれるオリエンテーションは日本の親善大使として世界に羽ばたく候補生、また候補生の保護者にもロータリーについてや派遣交換の意義、ホストファミリーとしての役割を理解していただくために開催しています。当 2760 地区は毎年数多くの交換を実施していますので候補生の時点でさまざまな国からのインバウンドと接することができ異文化交流をしたり様々な言語に触れています。

交換は世界中の国にコンタクトをしアグリーメントを交わすことにより次年度の交換先を決めます。そのタイムスケジュールから1月から遅いと3月に派遣国は決定されオリエンテーションの中で候補生がどこの国と交換生になるのかの発表があります。どこの国に派遣されるのかはその時までまったくわかりません。基本的に希望国に行ける確率はかなり低いです。今年の派遣先も先月末に確定しました。

オリエンテーションでは白馬研修などの宿泊もありますが ROTEX たちがしっかりと管理してくれているのでとても安心です。

今年 3 月 25 日から 27 日の白馬スキーの集いでは 2630 地区岐阜三重、2660 地区大阪北、2600 地区長野、2560 地区新潟、2770 地区埼玉南東、2570 地区埼玉西北、2590 地区神奈川、2760 地区愛知の計 8 地区の Inbound、候補生、ROTEX が参加しました。

16 カ国、(ドイツ、台湾、エクアドル、フランス、アメリカ、フィンランド、ベルギー、スイス、イタリア、スウェーデン、オーストリア、スペイン、スロバキア、ハンガリー、カナダ、ブラジル) 韓国からの米山奨学生合せて 17 カ国からの参加で総勢 180 名との参加で異文化交流と多言語のシャワーを浴びてくることができました。

そして一年間の厳しいオリエンテーションを休まずクリアした候補生はいよいよ旅立ちです。

2 年目の派遣生(アウトバウンド)としての一年です。今年のアウトバウンドたちが向かう先は、アメリカ北部・中部、フィンランド、ベルギー、イタリア、フランス、スウェーデンの 7 カ国です。それぞれ指定された国へ日本の親善大使として交換学生をスタートさせます。

そして彼らがアウトバウンドとして活躍している同時期に日本にインバウンドがやってきます。

スポンサークラブとしてアウトバウンドを送り出していたクラブがホストクラブとなりインバウンドを受け入れます。そしてアウトバウンドの保護者は第 1 ホストファミリーとしての活動がはじまります。

1 年間インバウンドの成長を見守り終わるころアウトバウンドたちの帰国がはじまります。

帰ってくるといよいよ 3 年目です。帰国生として自分たちが経験してきたことを新しい候補生へ伝えます。この帰国生の間もオリエンテーションは出席義務となります。

この 3 年間のプログラムを終了するといわゆるディプロマと言うものがガバナーより発行されます。

ディプロマとは、高等教育機関より発行される卒業証明書や業績証明書のことです。これらは、授与された者が完全に特定の課程を修了したこと、または特定の学科の単位を取得したことを証明するものです。

4 年目以降は ROTEX として青少年交換事業のお手伝いをしていただきます。

あいち学友会も設立されましたので今まで以上に輪が広

がり縦横のつながりができ素晴らしい人生が広がると思います。

さて、ロータリーとしての仕組みです。我々 2760 地区は先ほども申しましたが世界各国の派遣候補生を抱える国とコンタクトを取り交換先を決めます。そして派遣交換先国と契約を交わしスポンサーロータリーへお伝えします。

そしてそれを受けた候補生を抱えるスポンサークラブと受け入れてもらえる相手国のホストクラブとの交換がスタートします。

基本的に地区委員会は交換のお手伝いです。あくまでクラブ同士の交換学生制度です。

そしてインバウンドが来たときに、インバウンドに対してはホストロータリーとなっていただきます。候補生・アウトバウンド・帰国生に対してはスポンサーロータリー、インバウンドに対してはホストロータリーと言う名称になります。

そこで地区での当委員会役割は青少年交換委員会はクラブ間の交換のセッティングとお手伝いをし、候補生を国際大使として育てるための委員会です。

また RI 章典 2 条 120 青少年保護に基づき、青少年と接する際の行動規範に関する声明を基に、虐待を防止するためのロータリーのアプローチを学び、ロータリー青少年保護の手引きや、青少年プログラム参加者の保護に習い日々委員会活動を続けています。

今月のマイロータリーにも青少年との距離感が載っていますので是非ご一読ください。

インバウンドが来日した際の、クラブ・ホストファミリー・学校・カウンセラー・地区の役割を説明させていただきます。

ここで一番重要になってくるのがカウンセラーです。カウンセラーには青少年奉仕委員長はなれません。基本的にはクラブの会長・幹事もご遠慮を願うのがよいと考えています。

カウンセラーはインバウンドが入国する前から ZOOM などでしっかりとコンタクトをとり日本語がどの程度話せるのかどの程度日本のことを理解しているのかなどを把握していただきます。

そして入国後は常にインバウンドの一番近くにおいて学校・HF・クラブ・インバウンドの調和を保てるように働きかけていただきます。

また最も大切な役割の 1 つに報告義務と言うものがあります。

青少年保護に基づき RI では対して 72 時間ルールと言うものが設けられています。こちらは青少年交換に限らず、インターアクト、18 歳未満のライラにも適用されているものです。なにか事件事後が起きた時には 72 時間以内にはかならず RI への報告義務があります。

当地区では委員会に報告いただき危機管理委員会へ報告と同時にガバナー及び RI へ報告の流れとなっています。また RI 規定に 0 容認方針と言うものがあり、虐待やハラスメントなどの疑いをもたれ報告された時点で全てから切り離される体制があります。

実際に勘違いなどでそのような状況になってしまったロータリアンもいるそうです。

この 72 時間ルールを破ったりすると会員権利のはく奪や地区としては青少年交換の権利をはく奪されるなどとても重い処罰があります。



現状の青少年交換の問題点は

- ① スポンサークラブの不足
- ② ロータリアンの高齢化などによるホストファミリー不足
- ③ 悪いイメージが払しょくできていない
- ④ 金銭的な問題

① スポンサーロータリー不足

スポンサーロータリーを見つけることができません、と候補生から毎年電話をもらいます。

② 高齢化などによるホストファミリー不足

過去にはロータリアンのお宅でしかホストファミリーを受けていなかった経緯があったそうです。

ロータリアンの子弟が多く派遣候補生になっていたことからだと思えますが、今はロータリアンがホストファミリーを受けているほうが比率としては非常に低いです。結果派遣候補生の周りの人や親せきに頼る現状となっています。

③ インバウンドの悪い印象

理由としては

日本を派遣第一希望じゃない学生の態度が悪かった

自己主張の強い学生

集団生活が苦手な学生

文化の違いを受け入れられない学生

プライドの高い学生

などなど理由はありましたが、あくまでまだ高校生ですし、過去の素行の悪かった子がまた来日するわけではないので、過去のイメージは払拭していただきたいです。

今週末 2024 年 5 月 18 日に開催されるカルチャーフェアは、世界中から帰ってきている帰国生や ROTEX、また日

本の親善大使候補として学びいよいよ飛び立とうとしている派遣候補生たちが、各国の良さ、派遣交換の素晴らしさ、ロータリーの素晴らしさを、未来の候補生に伝える場となっています。14 時から 16 時まで開催しております。また同時刻別部屋にて青少年交換志願者説明会と言う質疑応答もおこなっておりますのでお気軽にお立ちよりください。

と、準備することや子どもたちがどう成長していくのかを理解していただけたでしょうか。

最後に少しだけお話をさせてください。

ロータリーは素晴らしい組織だと若輩者ながらいろいろ勉強させていただき気づき始めることができました。

我々青少年交換委員会もロータリーをもっと勉強して、派遣候補生は高校生なのでインターアクト加入促進、インターアクトにもっとアプローチして派遣候補生になってもらう、帰国生の 1 年のプログラムにライラ参加を義務づける。

そしてロータリーの素晴らしさを知った彼らは自ずとロータクトや財団奨学生へ

そしてロータリアンへととなっていくのではないのでしょうか。

こう言った横のつながりを強くしてさらなるブラッシュアップをはかっていきます。

青少年交換に少しでも深く携わることができたおかげで、皆さんより少しでも近くで学生たちの成長をみることができたおかげで感動を受け、今この活動に自信をがんばれていると思います。素晴らしいロータリーを後世に残すために青少年育成にそして未来のロータリアンの育成にお力を貸してください。

本日はどうもありがとうございました。

★ニコボックス

5 月 11 日分

RFF 例会出席の皆様：鬼頭会員、牧会員 2 日間お疲れ様でした。とても良い RFF でした。

本日分

加藤謙一様・河本圭史様：本日はお招きありがとうございます。精一杯卓話させていただきます。よろしくお願ひ。

山本雅久・高井龍雄：青少年奉仕担当例会です。伊藤角栄委員長お待たせしました！やっとなり番です。青少年交換の現状と危機管理について加藤謙一地区青少年交換委員長よろしくお願ひ。

伊藤角栄：卓話をして頂きます加藤謙一様よろしくお願ひ。同行頂きました河本様御礼申し上げます。

鬼頭秀幸：加藤謙一様には地区でもお世話になっています。本日の卓話よろしくお願ひ。

山口幹夫：誕生日をお祝い頂きます。

伊藤眞芳・廣濱成一・

金子通信・今川明彦・

飯野益通・保永真生：入会記念日をお祝い頂きます。

高橋哲也：ロータリーの友読みどころを発表させて頂き。

西郷隆治：20 周年記念事業のその後、三河市民オペラと豊橋ゴールデン RC の関係についてお話しさせて頂き。

松島弘和・小久保拓吏・

鶴殿健次・太田和彦：角栄君がんばって！

杉田和俊・鶴殿健次・

太田和彦：鈴木紳昭国際奉仕委員長、保永会員、高井幹事、本多会長エレクト、明日からのベトナム奉仕活動気をつけて行って来て下さい。事業の成功をお祈りしています。

山口幹夫：ロータリークラブへの送迎に感謝です。

西郷隆治：オペラの感動と興奮を再現するガラ・コンサートを 10 月 14 日開催します。よろしくお願ひ。

梅田英樹：RFF 例会を欠席しすみませんでした

飯野益通：上着とバッチを忘れました。

太田和彦：バッチを忘れました。すみません。

岡本久永：会葬御礼

鈴木雅人：ニコボックスを発表させて頂き。

鈴木雅人ニコボックス委員

★幹事報告

・中部名古屋みらい RC より「名古屋みらい RC」へ名称変更のお知らせ、愛知ロータリー E クラブより「愛知友愛 RC」へ名称変更のお知らせ、世界ポリオデー イベント フォトコンテストのご案内が届いております。

★他クラブの例会変更

- 5 月 27 日(月) 豊橋南 RC 親睦旅行 名古屋方面
- 5 月 28 日(火) 宝 飯 RC 会場都合のため
- 田原パ RC 豊橋東 RC と合同例会(サイン無)
- 5 月 29 日(水) 豊橋東 RC 田原パシフィック RC と合同例会
- 豊 川 RC 祝賀例会
- 渥 美 RC 5 3 0 運動
- 5 月 30 日(木) 田 原 RC 花木の森再整備のため